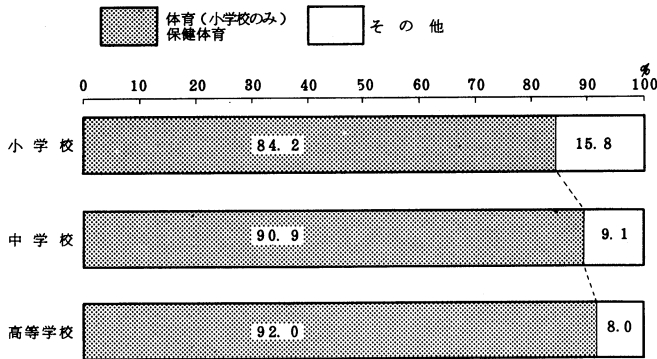


(図16) 各教科の中では、どんな教科が多いか



中学校では、小学校で高率を占めた休憩時間の割合が二三・五%に低下する反面、小学校で低率であった課外指導の割合が二七・三%に上昇し、各教科の占める割合も三一・九%に上昇している。

高等学校に進むと、休憩時間の割合は五・三%まで低下し、他方、課外指導の割合が四二・八%となり、また、各教科の割合も三七・二%となつて、課外指導と各教科の二つの場合だけで高等学校における災害の八〇%が発生している。

(表34) 体育授業中の災害上位10種

(昭和50年度福島県)

	小学校		中学校		高等学校	
	種目	件数	種目	件数	種目	件数
第1位	とび箱	162	バスケット	290	バスケット	204
2	ボートボール	66	サッカー	175	サッカー	144
3	高とび	61	バレーボール	135	バレーボール	93
4	マット運動	57	高とび	127	柔道	79
5	ドッチボール	56	とび箱	112	ハンドボール	44
6	サッカー	54	マット運動	86	ソフトボール	36
7	ソフトボール	53	ハードル	61	とび箱	35
8	走運動	44	走運動	53	マット運動	33
9	スキー	43	ソフトボール	35	高とび	33
10	鉄棒	35	柔道	33	ラグビー	15

このように、休憩時間の占める割合は、上級学校に進むにつれて急激に減少し、他方、課外指導の割合は急激に増加するが、このような形は、各学校種別ごとの児童生徒の身体活動の中心の所在を示している。(各教科における災害のうち、体育あるいは保健体育中の災害が、各学校種別とも八四%以上を占め、また、中・高等学校の課外指導中の災害のうち、体育的なクラブ(部)活動の災害が九九%を占める。)

(表35) 体育部活動における災害件数

(昭和50年度福島県)

	中学校		高等学校	
	体育部名	件数	体育部名	件数
第1位	バスケット	266	柔道	145
2	野球	239	野球	141
3	バレーボール	236	バレーボール	125
4	柔道	188	バスケット	124
5	サッカー	111	サッカー	76
6	陸上	101	陸上	55
7	ソフトボール	97	ソフトボール	52
8	体操	93	体操	37
9	剣道	48	ラグビー	36
10	テニス	43	テニス	34

なお、幼稚園は、統計上保育中が細分されていないので、図15のような結果となる。

(3) 災害発生場所
災害発生場所を学校内、学校外に分けると表36のとおり、各学校種別とも学校内が圧倒的に多いが、学校内を更に校舎内、校舎外に分けると、小学校では校舎内と校舎外がほぼ同じであるが、中学校、高等学校では校舎内の方が校舎外より多くなり、幼稚園は逆に校舎外が多くなっている。

(表36) 負傷発生場所の状況

(昭和50年度福島県)

区分	学校内			学校外	合計
	校舎内	校舎外	計		
小学校	45.6%	43.6%	89.2%	10.8%	100%
中学校	52.8	36.8	89.6	10.4	100
高等学校	51.8	36.0	87.8	12.2	100
幼稚園	44.4	49.5	93.9	6.1	100